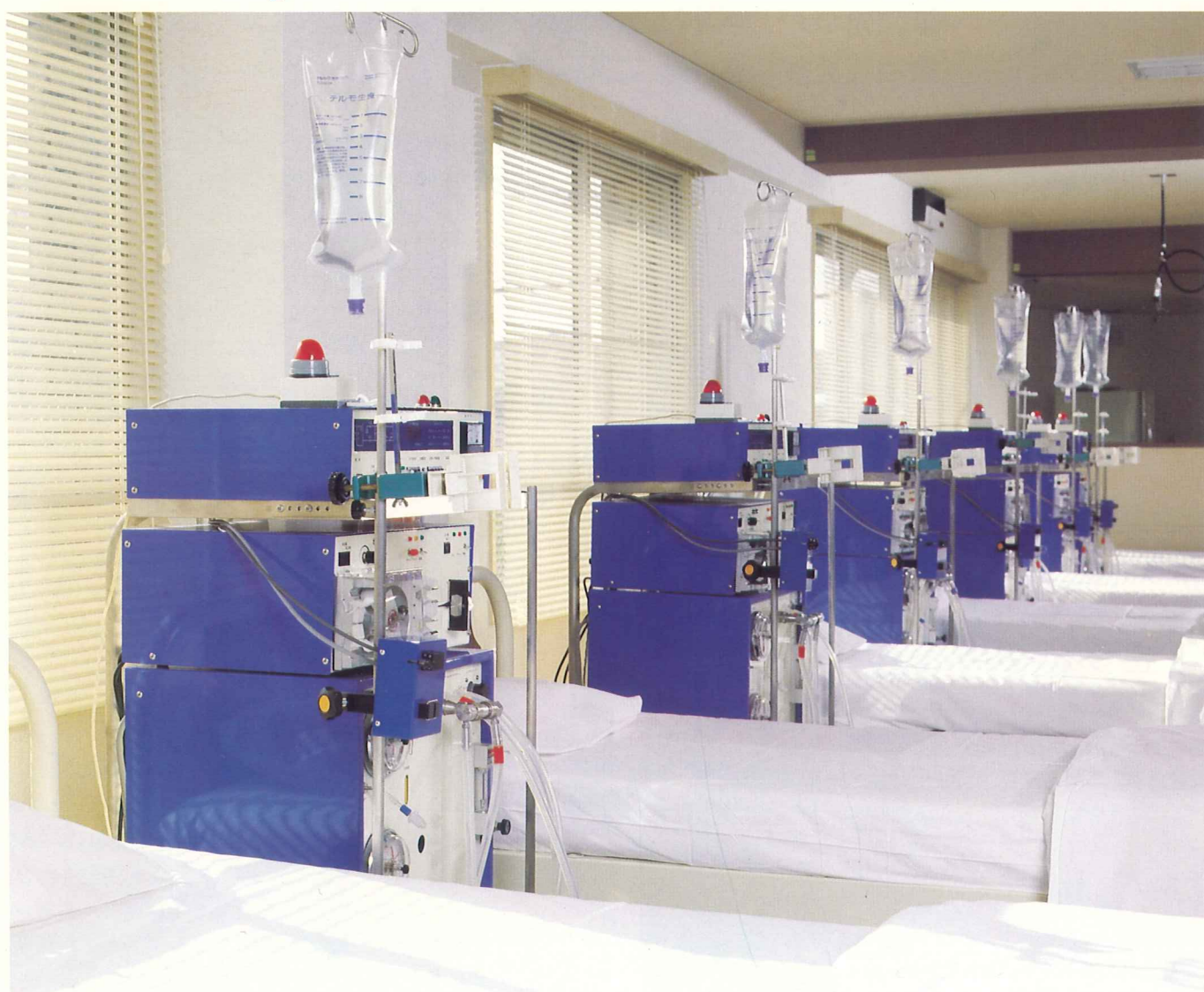


医療機器用洗浄除錆剤

透析装置、手術用器具、鉗子等の洗浄に有効

シュンマ® 250-ML PAT.



錆・水アカ・老廃物をおとす!!

シュンマ

250-ML

清潔！ 安全！



- 発売以来、全国の医療施設で高い評価。
- 機器を長持ちさせ、コストダウン！

■流量計における実験



強力な洗浄効果

■透析装置の洗浄に

医療機器を常に清潔に保つことは、より良好な医療を行うための必要条件です。

従来の方法では透析装置の配管内すべての洗浄が困難で、効果の点でも問題がありました。しかもコストや時間がかかり、安全性も問題になっていました。

これらの問題を解決するために開発されたシュンマは大変効果のある洗浄剤として、既に全国の医療施設で好評を得ています。簡単な洗浄で機器も長持ちし、コストダウンにもつながります。また医療用として製造されているので安全です。

■性質

- ①PH：7～7.4でほぼ中性です。
- ②透析装置に使用されている部品(ステンレス、テフロン、ゴム、ポリプロピレン、塩化ビニール、シリコン、カーボン等)をおかしません。
- ③洗浄中は鉄のサビと反応して紫色となり、そのまま放置すれば色が消えます。

■反応

主成分：チオグリコール酸アンモニウム $\text{SH-CH}_2\text{-COONH}_4$

▷鉄イオンとの化合 $\Rightarrow \text{Fe}(\text{SCH}_2\text{CO}_2\text{NH}_4)_3 \cdots$ 赤紫色

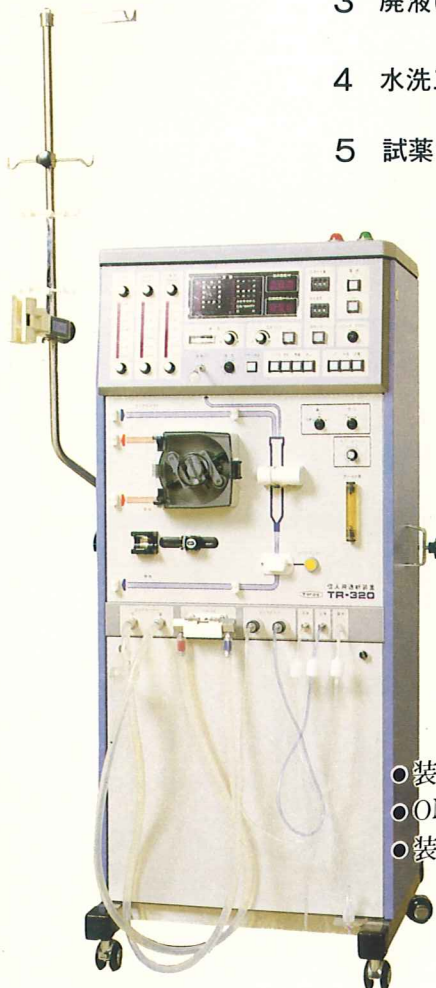
- ◎金属酸化物とチオグリコール酸塩との錯塩を生じ、そのものの溶解度が金属酸化物の溶解度より大きいので溶液中に溶出し、酸化物に付着している蛋白質等も除去されます。
- ◎色々な材質、溶接部などに対して安定した洗浄、腐食抑制を持続します。

簡単！..... 医療機器を清潔に保つための、安全で簡単な洗浄が可能。

■使用手順・方法

〈透析装置洗浄の場合〉

- 1 必要量の稀釈液を作ります。
(シュンマ1：水道水1～4)
- ↓
- 2 透析装置の配管、ポンプ、シリコン・ホース等内に貯留します。
(常温で、1～2時間)
- ↓
- 3 廃液にします。
- ↓
- 4 水洗工程を1～2時間行います。
- ↓
- 5 試薬で残留分をテストします。
—終了—



- 装置をいためず洗浄可能
- ONライン上の最小の準備でOK
- 装置の休止時間を短縮

- ▶ 定期的(2～3ヶ月毎)に洗浄を行えば、常に清潔に保たれて装置も長持ちします。
- ▶ 各種透析装置に合ったいろいろな洗浄方法が考えられますので、詳しくはお問合せ下さい。
- ▶ 手術用具、鉗子等の洗浄は浸漬方法が便利です。
(シュンマ2～5倍稀釈液で5～20分)

■残留分テスト法

- 用意する試薬
① 1/10規定ヨード液 ② 1%デンプン液 ③ 30%硫酸
- テスト法
 1. 試料100mlを採取する。
 2. 100mlに30%硫酸5mlを加え攪拌する。
 3. 更に1%デンプン液5mlを加え攪拌する。
 4. N/10ヨード液を1滴ずつ入れ紫色になった滴定数を数える。
- 判定
上記のテストをシュンマ洗浄箇所を通ってない水100mlでも同様に行い、シュンマ洗浄後水との滴定数差でシュンマ残留分を判定する。
◎ 滴定数差1滴(約0.05ml)＝約5ppm、2滴＝約10ppm
例：シュンマ洗浄後水の滴定数3滴、シュンマ洗浄箇所を通らない水の滴定数1滴の場合は、滴定数差3は－1＝2滴で10ppm以下の残留分であることを示す。

皮膚に触れても安全

- ※ シュンマの原料は、厚生省許可成分で、医薬部外品としてコールドパーマ液に使用されておりますので皮膚に触れても危険はありません。
- ※ 水洗いで簡単に除去できます。(眼球・毛髪・衣類等に触れた場合も同様)
- ※ 但し、長時間接触する場合は皮膚が荒れますので、ゴム手袋を着用して下さい。
- 残留分試薬は別売致します。